

2014/11/1

しろひげ@Kurobane です。

11 月になりました。

家々の垣根の満天星（どうだん）つつじの鮮やかな赤色と、街路樹の銀杏の黄色が秋を彩っています。

当院の庭にあるハナミズキも、深い赤から薄茶へと葉色を変え、最終章を迎えたかのようです。

そろって葉先を地に向け、土にかえる時を待つ、何とも言い難い晩秋の演出者のひとりです。

中原中也の詩にずばり「秋」がありますが、次のような一連があります。

昨日まで燃えてみた野が

今日呆然として、曇った空の下につづく。

一雨毎に秋になるのだ、と人は云ふ

年に12ある月々に優劣はありませんが、北国では11月のイメージは、いさか不遇かもしれ
ません。

つめたい雨が野山をたたいて、冬枯れに向かう寂しさがみにしみるからでしょう。

これからは中也の詩も「一雨毎に冬になるのだ」と変えて、つぶやくことが多くなりそうです。

なればこそ、季節の挽歌を歌う名優たちに誘われながら、身边を振り返り、来し方行く末に
思いをはせるべきです。

<わが歩む落葉の音のあるばかり> 杉田久女

かさり、というかすかな音は、人のつぶやきにも似ています。

強い風に吹かれて一斉に転がるときには、無数の風車（かざぐるま）のように、かしゃかしゃ
と鳴ります。

春のさくらもそうですが、枯れ葉もまた、時を逆回しにして、かつてのことを思い出させます。

秋の心を愁というように、不遇な月は案外、私たちに内省を促すいい時を与えてくれるのかも

しれません。

そして、陽光穏やかな日の幸福感は、この霜月ならではこそです。

季節の曲がり角も、考えようによっては丸みを帯びることを、皆さんと一緒に実感する 30 日にしたいものです。

追伸：先月お知らせしたテレビ放映時間が決まりました。

B S - T B S「赤ひげのいるまち」

11 月 7 日（金）20 時 54 分～20 時 59 分

11 月 14 日（金）20 時 54 分～20 時 59 分 です。

黒羽根整形外科

黒羽根 洋司